



【こしがや能楽堂 4月の主な催し物】

催物名	公演日	内容	入場料
華の会	平成29年4月22日(土) 4月23日(日)	日本伝統文化の祭典	無料

能「井筒」紹介

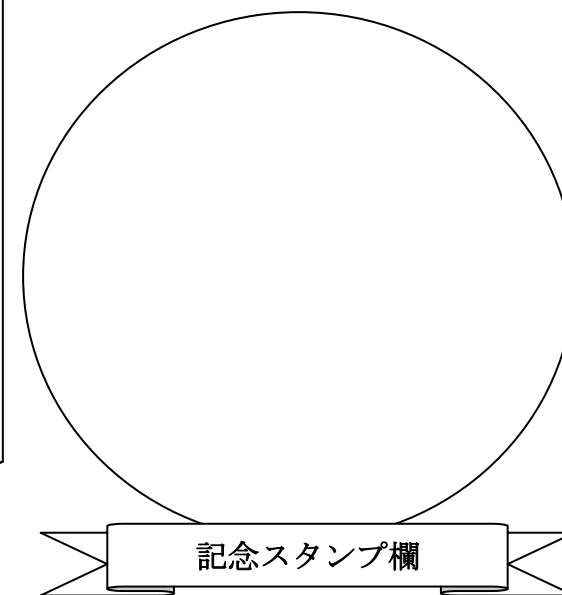
こしがや能楽堂には、ご利用していただける和室が楽屋以外に4部屋あり、それぞれ能の曲目からつけた「井筒」「羽衣」「熊野」「松風」という名前がついています。部屋の名前になっている曲目を紹介していきます。

『井筒 (いづつ)』

世阿弥自身が「申楽談儀」で自賛するほど、幽玄能の代表作といわれる。在原業平と紀有常の娘の跡を弔う旅僧の前に女が現れ、昔を語る。高安の愛人に通う業平を妻は恨むどころか、夜道を通う夫の身を案じ歌を詠む。その心が業平の高安通いを止める。回想はさらに過去へと遡る。幼なじみの男女が成人し、互いに歌を交換して、やがて恋が実る。そう語り女は姿を消す。僧の夢に女は業平の形見を身に着けて現れ、思いを込めて舞う。のぞき込んだ井筒の水鏡に映った姿は、業平の面影そのまま。なつかしく思いながらも、夜明けとともに亡霊は姿を消す。

あの世から時間を遡って現れた女の回想にのせて純粹に浄化された思慕の情が際立つ作品です。

参考：談交社 「能観賞 二百一番」



- ◇ 住所：越谷市花田六丁目6番地1
- ◇ 電話：048-964-8700
- ◇ FAX：048-964-8622
- ◇ ホームページアドレス <http://nohgakudou.koshi-kannri.com/>
- ◇ 開館時間：午前9時～午後9時30分
- ◇ 休館日：毎週水曜日（祝日にあたる時は、その翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）
- ◇ 能楽堂の見学は無料です。

こしがや能楽堂



交 通 機 関	
東武スカイツリーライン・地下鉄日比谷線・半蔵門線・JR 武蔵野線	
新越谷駅・南越谷駅	越谷駅
北口から	東口（北側ロータリー）から
花田行き又は市立図書館行き	花田循環又は市立図書館行き
花田苑入口下車	花田苑入口下車